

受験に向けた心構えと注意事項

1. スケジュール管理の徹底

- 全体日程の把握と計画作成
出願期間、試験日、合格発表日、入学手続きの締め切りまでを正確に確認し、自分だけのスケジュール帳やカレンダーを作成しましょう。
- 提出期限は厳守
まずは「進学申込書」と「推薦書」の提出からスタートです。締め切りにたった 1 日遅れただけで受験資格を失うこともあります。出願開始日の 3 週間前には、担任の先生へ提出してください。書類郵送の際には、「消印有効」、「必着」のどちらであるかを必ずチェックしてください。
- 合格後の手続き忘れに注意
期限内に入学金の振込などを完了しないと、合格が取り消されることがあります。

2. 総合型選抜・学校推薦型選抜への取り組み

- 推薦される者としての自覚と覚悟
学校や指導者の推薦を受けて受験することへの自覚と責任を持ちましょう。挨拶やマナー、毎日の授業態度など、普段の行動から意識を高めてください。

○志望理由書の作成ポイント

きれいな文章を並べることや、AI に頼った文章では自分らしさや熱意は伝わりません。次の 3 つの要素を自分の言葉で整理しましょう。

1. 未来: 将来の夢や目標、それを叶えるためにその大学で何を学びたいか(なぜその大学でなければならないのか)。
2. 現在: 将来の夢に向けて、いま高校生活で何に取り組んでいるか。
3. 過去: どのようなきっかけや原体験から、その夢を目指すようになったか。
※各校のアドミッション・ポリシー(求める学生像)を理解し、自分と学校の相性が合っているかを明確にしましょう。

○面接対策

大学の分析: アドミッション・ポリシー、特色、他校にない強みを頭に入れておきます。

志望理由書の深掘り: 書いた内容について具体的に質問されることを想定し、あらかじめ質問と回答のメモを用意しておきましょう。

熱意と軸: 入学したい強い気持ちを伝えるとともに、自分の軸(本質的な考え)をぶれさせないようにします。丸暗記ではなく、自分の考えを言葉にする練習をしてください。

礼儀作法: 言葉遣いやお辞儀などの作法は日頃の習慣が出ます。普段から意識しておきましょう。

事前のアポ取り: 先生方に面接練習をお願いする際は、都合を配慮して余裕を持って依頼しましょう。

○小論文対策

継続的な練習: 毎日地道に書く練習を重ねましょう。指導をお願いする際は先生方のスケジュールを配慮し、情報収集→執筆→添削→書き直しというサイクルを無理のない計画で進めてください。

背景知識と説得力: 説得力のある文章を書くには、客観的な事実や社会情勢の裏付けが必要です。日頃からニュースや社会の出来事に目を通し、知識を蓄えましょう。

3. 高校生活終盤の過ごし方

- 最後まで粘り強く取り組む
例年、共通テストを経て一般入試で最後まで努力を重ねて合格を掴み取る先輩が多くいます。先生方も最後の一人が決まるまで全力でサポートします。あきらめずに挑み続けましょう。
- 本当の学力をつける
進学の目的は学びを深めることです。高校生のうちから学ぶ意欲を持っている人こそが、大学進学後も充実した学びを得られます。
- 将来(就職活動)を見据えた行動
最近は就職活動の早期化が進んでいます。「入学後にどんな活動をして、何を自分のアピールポイントにするか」を入学前から考えておき、有意義な学生生活のプランを立てましょう。
- 商業高校生としての強み磨き
今の時期にしかできないことに挑戦し、自分ならではの「武器」を持って卒業を迎えましょう。
- 受験は「団体戦」
クラス全体の雰囲気づくりがとても大切です。クラスメイト全員の進路が決まるまで、お互いを応援し支え合う気持ちを忘れないでください。

4. 感謝の気持ち

入試の結果が出たら、担任の先生を通して速やかに進学指導部へ報告してください。可否の結果に関わらず、面接や小論文の指導でお世話になった先生方には、必ず自分から直接報告と感謝の気持ちを伝えるに行きましょう。

5. 体調管理と感染予防

秋季から冬季にかけてインフルエンザなどの感染症が流行します。出願から試験当日、手続き完了に至るまで油断せず、時間に余裕を持った行動と日々の健康管理を徹底してください。